

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]																																																																																																																											
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	5																																																																																																																		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																																																																																												
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課					高齢者支援		係	課長名			石嶋 洋平																																																																																																																	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2																																																																																																																				
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51																																																																																																																				
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）																																																																																																																							
	100歳及び最高齢の市民 最高齢者 30,000円を支給 百歳者 10,000円を支給					市内65歳以上の高齢者数（4月1日現在）																																																																																																																							
	→																																																																																																																												
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）																																																																																																																							
	長寿を祝うとともに、敬老の意を表すことで、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげてもらう。					最高齢者及び100歳の市民																																																																																																																							
	→																																																																																																																												
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）																																																																																																																							
	市長が表敬訪問を行い最高齢者（4月に訪問）及び100歳の市民（誕生日またはその翌月に訪問）に祝金を支給し、花束を贈呈している。					最高齢者及び100歳の市民																																																																																																																							
	→																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2 指標の推移</td> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>22,902</td> <td>23,062</td> <td>23,275</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>最高齢者 36 106</td> <td>最高齢者 16 105</td> <td>最高齢 10 106</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>②の目標値</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方 年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはなじまない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">3 経費</td> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>人</td> <td>最高齢者 36 106</td> <td>最高齢者 16 105</td> <td>最高齢 9 106</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源</td> <td>事業費（実績）</td> <td>円</td> <td>577,000</td> <td>268,000</td> <td>186,000</td> <td colspan="2" rowspan="4">※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>円</td> <td>577,000</td> <td>268,000</td> <td>186,000</td> </tr> <tr> <td>特定財源（国・都・他）</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>（うち受益者負担）</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費（目安）</td> <td>所要人数(再任用以外)</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>所要人数(再任用)</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用以外)</td> <td>円</td> <td>831,000</td> <td>838,000</td> <td>825,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用)</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費+人件費</td> <td>円</td> <td>1,408,000</td> <td>1,106,000</td> <td>1,011,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>														単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	22,902	23,062	23,275			成果指標	②の数値	人	最高齢者 36 106	最高齢者 16 105	最高齢 10 106			目標	②の目標値	人						目標値設定の考え方 年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはなじまない。							3 経費	活動指標	③の数値	人	最高齢者 36 106	最高齢者 16 105	最高齢 9 106			財源	事業費（実績）	円	577,000	268,000	186,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		一般財源	円	577,000	268,000	186,000	特定財源（国・都・他）	円	0	0	0	（うち受益者負担）	円			0	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1			所要人数(再任用)	人						職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000			職員人件費(再任用)	円						事業費+人件費		円	1,408,000	1,106,000	1,011,000		
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																																																																																							
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																																																																																						
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	22,902	23,062	23,275																																																																																																																							
	成果指標	②の数値	人	最高齢者 36 106	最高齢者 16 105	最高齢 10 106																																																																																																																							
	目標	②の目標値	人																																																																																																																										
	目標値設定の考え方 年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはなじまない。																																																																																																																												
3 経費	活動指標	③の数値	人	最高齢者 36 106	最高齢者 16 105	最高齢 9 106																																																																																																																							
	財源	事業費（実績）	円	577,000	268,000	186,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																																																																																						
		一般財源	円	577,000	268,000	186,000																																																																																																																							
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0																																																																																																																							
		（うち受益者負担）	円			0																																																																																																																							
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1																																																																																																																							
		所要人数(再任用)	人																																																																																																																										
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000																																																																																																																							
職員人件費(再任用)		円																																																																																																																											
事業費+人件費		円	1,408,000	1,106,000	1,011,000																																																																																																																								
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和50 年度																																																																																																																												
	(2) 環境の変化 昭和50年度から88歳以上の市民に対し、敬老金のほか、長寿を祝うため長寿祝金としても、5,000円を追加支給していた。対象者増加により見直しを行い、平成13年度以降は100歳以上を対象としている。また、令和2年度から市内最高齢者及び100歳を迎えた高齢者を対象としている。																																																																																																																												

事業名称	高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]			
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課	高齢者支援	係	課長名 石嶋 洋平

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし		
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 事業廃止・縮小に向けて検討を行った。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 事業見直しをする必要がある。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 今後も引き続き事業の見直しを検討する必要がある。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	特になし		